

平成28年度 決算 報告

平成28年度決算とは、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの歳入と歳出の実績のことです。

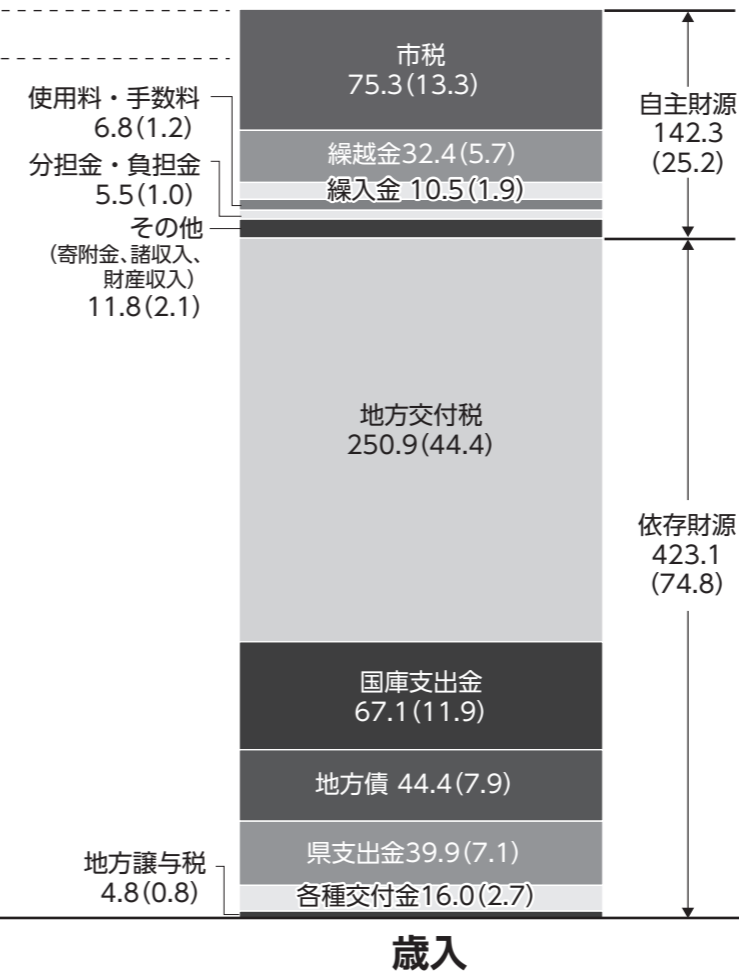
どのようなお金が入ってきて、どんな事業に使ったのか。これらの数字から市のお財布事情はどうなのかをみていきます。

【問い合わせ先】
本庁・財政課(三貴ビル内) ☎⑦5053

平成28年度の一般会計の決算は、歳入が前年度と比較して4億円(0.7%)の減で565.4億円、歳出が5千万円(0.1%)の減で536.5億円となりました。歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は28.9億円、この額から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は25.2億円の黒字になりました。

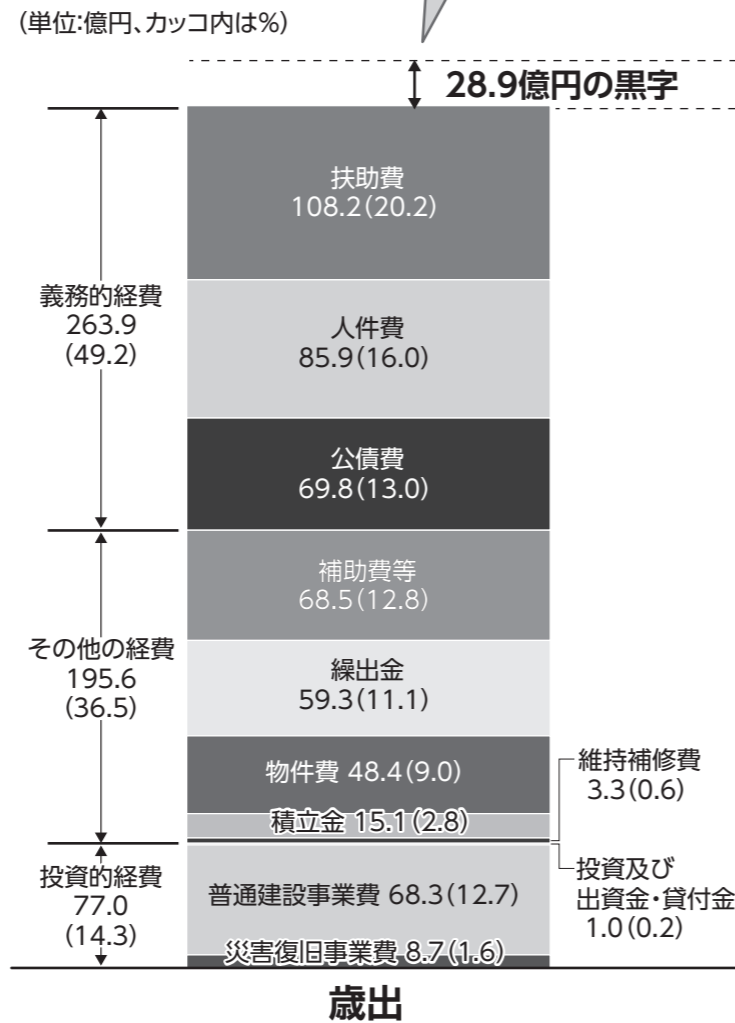
歳入総額 565.4億円

財源別にみると、市税などの自主財源が142.3億円(25.2%)、地方交付税や国・県支出金などの依存財源が423.1億円(74.8%)となりました。



歳出総額 536.5億円

性質別にみると、扶助費などの義務的経費が263.9億円(49.2%)、補助費等などのその他経費が195.6億円(36.5%)、普通建設事業などの投資的経費が77.0億円(14.3%)となりました。



■性質別のお金の使い道

【扶助費】

生活困窮者、子ども、高齢者、障がい者などを援助するために使いました。

【公債費】

国や銀行などから借り入れたお金の返済に使いました。

【補助費等】

広域連合(消防やごみ処理)に対する負担金や水道・下水道・病院事業への補助金などに使いました。

【繰出金】

特別会計へ援助するために使いました。

【物件費】

賃金や旅費、物品の購入費、委託料、賃借料など消費的な性質に使いました。

【普通建設事業費】

道路や橋りょう、公園、庁舎や学校建設などの社会資本の整備に使いました。



企業会計の 決算状況

企業会計は、商店や会社などの民間企業と同じように、その事業で得た収入をもって支出をする独立採算制の会計で、地方公営企業法により設置するものです。

区分	収入	支出	
水道	収益的収支	16億3,920万円	14億6,277万円
	資本的収支	5,255万円	6億7,727万円
下水道	収益的収支	20億9,858万円	19億5,099万円
	資本的収支	4億225万円	10億9,003万円
病院	収益的収支	36億6,913万円	36億9,081万円
	資本的収支	1億8,788万円	4億8,294万円



特別会計の 決算状況

特定の事業を行う場合に、一般会計と区別して会計処理をしたほうが望ましいときに特別会計を設けています。

区分	歳入	歳出
国民健康保険	156億9,008万円	150億5,253万円
介護保険	109億5,323万円	106億4,741万円
後期高齢者医療	11億4,613万円	11億3,987万円
浄化槽市町村整備推進事業	1億3,903万円	1億3,890万円
簡易水道事業	13億3,441万円	12億8,104万円
国民健康保険診療施設	2億2,313万円	2億53万円
歯科診療所	6,522万円	5,385万円
斎場事業	9,384万円	8,939万円

「Ama-biz」(天草市起業創業・中小企業支援センター)の活動状況などをお知らせします。

所在地：中央新町3番17号(本渡中央銀天街アーケード内)
開所日：月～金曜日(祝日、年末年始を除く) 9:00～17:00

相談予約・問い合わせ ☎24-5555



はじめまして。このたび、アマビズに加わることになりました、長谷 怜紀と申します。平成元年生まれの28歳で、出身は北海道函館市。その後、札幌と京都で学生生活を送り、社会人になってからは東京で人と会社をマッチングする仕事やIT関連の仕事に就いていました。将来的に地方の産業発展支援に貢献したいと考えていた中、ご縁あってアマビズの公募を見つけ、「これだ!」と感じ、天草に飛び込んできました。

天草での生活は人生初ですが、海を生かした産業や観光業はもちろん、外国文化の歴史は地元函館に近い部分もあり、とても楽しみにしています。また、皆さまの温かさやご期待を大変ありがたく受け止めています。これから、天草市のために全身全霊尽くして精進してまいります。

どうぞよろしくお祈りします。

昨年12月から欠員となっていた副センター長に、長谷 怜紀氏の採用を決定しました。全国各地から46人の応募があり、書類選考、面接を行い①コミュニケーション能力が高く、聞き出す力も長けている②ビジ

ネスセンスに長けている③今後のスキルアップが大いに期待できるなどの理由から採用に至りました。長谷氏は研修を終えた後、11月20日(日)からアマビズで業務を開始する予定です。

副センター長に長谷氏を採用

★アマビズの相談スタッフを紹介

アマビズには、内山センター長、長谷副センター長のほか、IT、フード、デザイン、商品開発に詳しい4人のアドバイザーで皆さんをサポートしています。お気軽にアマビズをご活用ください。



●ITアドバイザー
江崎 竜紀氏 (週2回)

丁寧なアドバイスとフォローがあり、情報発信が苦手な私でもできました!
(相談者: 堤さん)



●フードアドバイザー
松田 悠佑氏 (月1回)

カフェにピッタリ合ったメニューのアドバイス、夢があります。
(相談者: 玉城さん)



●デザインアドバイザー
松田 浩隆氏 (月2回)

穏やかに優しくアドバイスしてくださり、こちらの要望も伝えやすく感謝しています。
(相談者: 平方さん)



●商品開発アドバイザー
綱田 誠氏 (月1回)

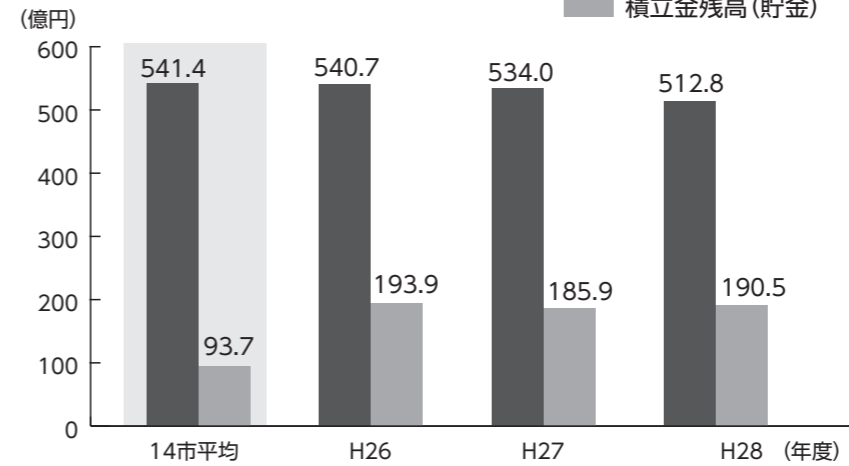
とても頼りになります。先々の不安な事にもアドバイスしていただきやる気が増します。
(相談者: 田辺さん)

天草市の 財政状況

お財布事情

市の財政状況の良し悪しは、1つのものさしだけでは測れません。さまざまな指標を県内14市の平均値やこれまでの推移と比較しながら見ていきましょう。

■市の借金と貯金の推移



●地方債(市の借金)

財政運営の基本方針として、借入額は元金返済額より超えないようにしているため、毎年減ってきています。

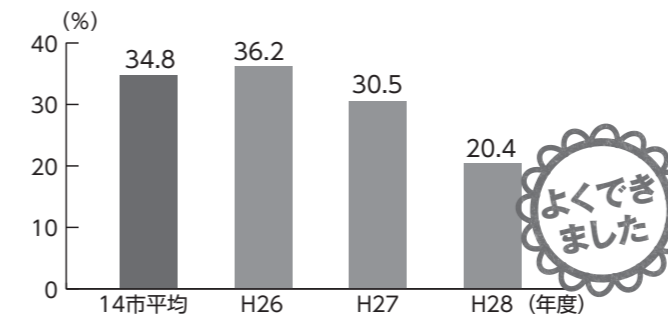
借金は前年度から21.2億円、5年間で73.5億円減少しました。

●積立金(市の貯金)

貯金を取り崩すよりも多く貯金を行ったので、前年度より4.6億円貯金が増えました。

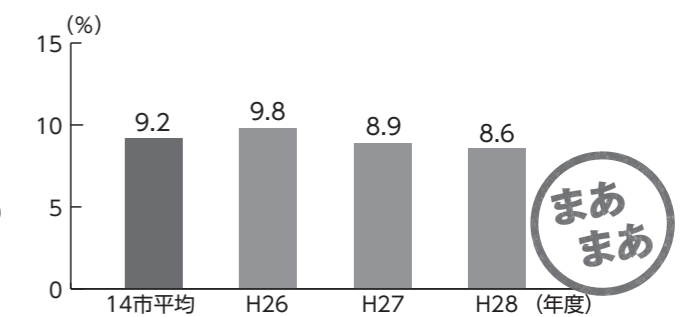
■将来負担比率

借金の返済や職員の退職金など将来支払わなければならない負債が、収入に対してどの程度かなどを示す指標です。将来の財政負担をチェックするもので、前年度より10.1ポイント好転し、20.4%になりました。



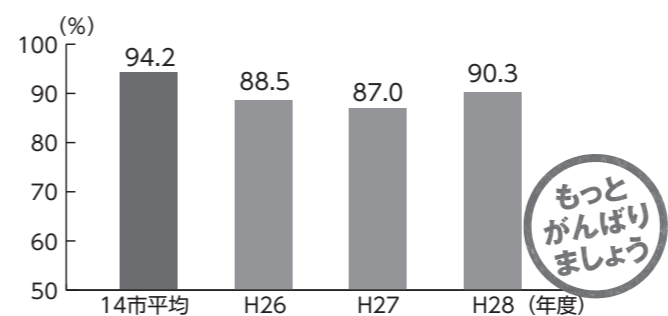
■実質公債費比率

収入に対する一般会計などの借入金返済額の割合。この割合が高くなるほど資金繰りが悪くなっているということになり、18%を超えると借金をするときの国の許可が必要になります。



■経常収支比率

市税や普通交付税など経常的に入ってくるお金を、社会保障費や人件費など経常にかかる経費にどのくらい使っているかを見るものです。この比率が高いほど財源に余裕がないことになり、前年度より3.3ポイント悪化しました。



■財政力指数

標準的な行政活動を行うために必要な財源を、どの程度自力で調達できるかを見る指標です。指数が小さいほど財政力が弱く、交付税や補助金などに頼っていることを示します。

